

養護教諭がおこなう不適應児童生徒に対するアセスメント
～ アセスメントシートの工夫と活用を通して ～



1 設定理由

保健室には、身体的症状を訴え来室する児童生徒がいる。その中には様々なことが原因で不適應を起こしている場合がある。学校不適應とは、学校場面への適應の困難さを示し、不登校、いじめ、緘黙、虐待、学級崩壊など、広く学校内での集団不適應や学業不適應の問題を包括するものであり、児童生徒の不適應行動は、登校をしぶったり、友達とのトラブルを繰り返したり、保健室に頻繁に出入りしたりするなど様々な状態で現れている。それらの不適應行動が、表面的な解決にとどまると、また同じ事の繰り返しになりかねない。

問題が深刻化する前段階で養護教諭が察知し、介入する等の予防的観点からのアプローチの必要性を感じる。不適應行動の兆候や、リスクが高いと思われる児童生徒に対して、早い段階で情報を集め、多面的に原因を考え、見立てることにより、適切な初期対応や、児童生徒の実態に合った支援を行うことができるのではないかと考えた。

そこで、保健室で使用できるアセスメントシートを作成し、使用することによって、アセスメントの手がかりとなる情報を収集、整理しやすくなると、問題解決に向けての具体的な支援も見えてくるのではないかと考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

- (1) 養護教諭が保健室で使用できるアセスメントシートを作成することで、養護教諭が行うアセスメントが実施しやすくなるであろう。
- (2) アセスメントシートに沿って児童生徒の面談を行うことで、必要な情報を引き出し収集し、不適應状況の背景を整理することができるであろう。
- (3) アセスメントシートを担任や関係職員と共有し、より多面的に原因を考え見立てることで、具体的な支援に繋げることができるであろう。

3 研究内容

- (1) 「アセスメントシート」の作成
- (2) 「アセスメントシート」の試行と改善
- (3) 「アセスメントシート」の活用

4 結論

- ・『基本アセスメントシート』を使用することによって、効果的に必要な情報を収集することができた。
- ・『基本アセスメントシート』を記入することによって、自分の視点にはなかった様々な情報を集約でき、多面的な視点で見ることができた。
- ・『基本アセスメントシート』をケース会議で使用することによって、共通理解が図れた。



2部会 成田市養護教諭部会

発表者 成田市立公津の杜中学校 岡本 征代
成田市立平成小学校 中村久美子

1 はじめに

保健室には、身体的症状を訴え来室する児童生徒がいる。その中には様々なことが原因で不適応を起こしている場合がある。学校不適応とは、学校場面への適応の困難さを示し、不登校、いじめ、緘黙、虐待、学級崩壊など、広く学校内での集団不適応や学業不適応の問題を包括するものであり、児童生徒の不適応行動は、登校をしぶったり、友達とのトラブルを繰り返したり、保健室に頻繁に出入りしたりするなど様々な状態で現れている。それらの不適応行動が、表面的な解決にとどまると、また同じ事の繰り返しになりかねない。

問題が深刻化する前段階で養護教諭が察知し、介入する等の予防的観点からのアプローチの必要性を感じる。不適応行動の兆候や、リスクが高いと思われる児童生徒に対して、早い段階で情報を集め、多面的に原因を考え、見立てることにより、適切な初期対応や、児童生徒の実態に合った支援を行うことができるのではないかと考えた。

そこで、保健室で使用できるアセスメントシートを作成し、使用することによって、アセスメントの手がかりとなる情報を収集、整理しやすくなると、問題解決に向けての具体的な支援も見えてくるのではないかと考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

- (1) 養護教諭が保健室で使用できるアセスメントシートを作成することで、養護教諭が行うアセスメントが実施しやすくなるであろう。
- (2) アセスメントシートに沿って児童生徒の面談を行うことで、必要な情報を引き出し収集し、不適応状況の背景を整理することができるであろう。
- (3) アセスメントシートを担任や関係職員と共有し、より多面的に原因を考え見立てることで、具体的な支援に繋げることができるであろう。

3 研究経過

2018年	<ul style="list-style-type: none">○「心身の健康課題を抱える児童生徒に対してのアセスメントに関する調査」を成田市内養護教諭に実施○講義及び指導「養護教諭が関わる教育相談」 講師：子どもと親のサポートセンター教育相談部 研究指導主事 竹尾 幸 先生○アンケート「アセスメントについて」の分析とアセスメントシートの作成<ul style="list-style-type: none">①気になる子の保健室状況シート（27項目）②家族シート③学級シート④長欠児童生徒シート⑤気になる子どものチェックシート※以下、上記①～⑤のシートを『基本アセスメントシート』とする。○『基本アセスメントシート』及び『見立てシート（千葉県版不登校対策指導資料集より）』の試行○『基本アセスメントシート』及び『見立てシート』の使用についてのアン
-------	--

	<p>ケートの実施</p> <p>○『基本アセスメントシート』及び『見立てシート』の反省と分析、修正</p>
2019年	<p>○講義及び指導「養護教諭のできる不適応児童生徒への対応のヒント」 講師：成田市教育委員会教育指導課 指導主事 本間 洋 先生</p> <p>○アンケート「『基本アセスメントシート』の使用について」の分析</p> <p>○『基本アセスメントシート』の修正及び、追加シートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になる子の保健室状況シート（16項目） ・きっかけシート1 ・きっかけシート2 <p>○『基本アセスメントシート』の試行と反省</p>
2020年	<p>○『基本アセスメントシート』の修正</p> <p>○『基本アセスメントシート』の実施</p>

4 研究内容

【仮説1】

(1) 「心身の健康課題を抱える児童生徒に対してのアセスメントに関する調査」の実施

- ・調査時期 2018年11月
- ・対象 成田市内養護教諭 36名
- ・方法 質問紙調査（資料1、2）

- 『健康課題を抱える児童生徒に対してのアセスメントの必要性』について
35名（97.2%）が必要と感じ、26名（72.2%）が実践していると回答した。
- 『健康課題を抱える児童生徒に対して、日常、どのように感じているか』について
「原因や背景の複雑化」94.4%、「人間関係がうまくいかない」52.8%、「保護者との見解の違い」41.7%、「児童生徒の考え方や常識に偏りがある」30.6%、「医療的判断が必要」22.2%であった。また「どのように対応したら良いかわからない」と27.8%が回答している。
- 『健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを行うに当たって困難さを感じているか』について
35名（97.2%）が「はい」と回答している。その理由は「アセスメントの知識やスキルが無い」61.1%、「具体的対応策の見立てができない」41.7%、「時間の確保」38.9%、「保護者との連携の仕方」36.1%、「学校体制やチームでの取り組みが有効に機能しない」36.1%、「担任や他の教員との連携の仕方」19.4%であった。
- 『健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを行う際に、アセスメントシート（具体的な問診項目）があれば使いたいと思うか』について
31名（86.1%）が使用したいと回答した。

以上の結果より、心身の健康課題を抱える児童生徒に対してのアセスメントは多くの養護教諭が必要と感じているが、行うに当たっては困難さを感じている。その背景には原因の複雑さもあり、時間の確保の困難さや、アセスメントの知識やスキル、具体的対応策の見立てに不安を感じていたり、校内、保護者、外部機関との連携に難しさを感じていたりしているということがわかった。

(2) 『基本アセスメントシート』の作成

成田市教育委員会本間洋指導主事のご指導を仰ぎながら、アセスメントシートを作成することにした。

『基本アセスメントシート』として、①気になる子の保健室状況シート、②家族シート、③学級シート、④長欠児童生徒シート、⑤気になる子どものチェックシートの5シートを作成した。

『病気の記録』は、2012年の印旛地区教育研究集会で、富里市が作成したストレス反応をチェックできる来室記録用紙をベースにした。『基本アセスメントシート』の項目で来室時に聞ける内容は、病気の記録の裏面に「最近のぼく・私について教えてね」と題し、作成することにした。(資料3-①、3-②、4-①、4-②)

【仮説2】

(1) 『病気の記録』『基本アセスメントシート』の活用について

2018年12月～2019年1月末まで、成田市内養護教諭(36名)が、それぞれ各学校において使用した。その後、使用した感想についてアンケートをとり、「KJ法」を用いて集計、考察をした。

※『基本アセスメントシート』は欠席日数10日以上の子供生徒や養護教諭が気になっている児童生徒、及び不適応行動が見られる児童生徒等に使用した。

<使用した感想>

『病気の記録』『基本アセスメントシート』の活用について

① 『病気の記録』を使用した感想

- 養護教諭自身の気づきとなった。(聞き漏らしがない、話のきっかけになる)
- 子ども自身の気づきとなった。(状態を視覚化できる)
- 様式が簡潔で使いやすい。
- 担任との情報交換に役立った。
- 1つの回答から、コミュニケーションが深まった。
- 様式、項目に関して、変更や付け足しなど、改善を希望する。
- 短時間での活用が難しい。
- 記入が難しい児童生徒も多い。

【アンケートの結果を受けて改善した点】

- ・『病気の記録』の項目を見直し、より簡潔に答えられるものとした。

② 『基本アセスメントシート』を使用した感想

- 情報を整理できた。
- 児童生徒の問題を客観的に見ることができた。
- 職員との情報共有に役立った。
- 家族シートは家族状況を把握するのに有効であった。
- 活用しやすかった。
- シートのシンプル化を希望する。
- 情報収集が大変だった。(担任から情報を収集するのが大変)
- 自己研修の必要性を感じた。

【アンケートの結果を受けて改善した点】

- ・『基本アセスメントシート』の項目を見直し、よりシンプルなものとし、『きっかけシート1』『きっかけシート2』を新たに付け加えた。(資料5、6)
- ・『気になる子の保健室状況シート』(資料7-①②③)を養護教諭が記入するシートととらえ、他のシートについては必要に応じて使用することとした。(資料8~12)
- ・養護教諭が一人で情報収集する際に使いやすい項目となるように見直し、よりシンプルなものとした。

【きっかけシート1】

なぜこの子は休みが多く
なってきたのかな？

＜アセスメントから、きっかけになったことは何が考えられるか？＞

() 1.家の中で大きな変化があった。

- ・引っ越し
- ・離婚
- ・死別
- ・親の転職
- ・経済状況の悪化
- ・その他()

イベントをきっかけに
行かなくなることも
あります。

() 2.学級で何かあった。

- ・友達関係のトラブル
- ・いじめ
- ・勉強のつまずき
- ・その他()

() 3.その他、思い当たることがある。

※原因があるのであれば、その原因を快方するためには？

考えられる困り感(例)

本人	家庭	学校
本人の気質は？ 発達障害傾向はないか？ ・HSC過敏症 ・LD ・ADHD ・自閉 ・コミュニケーション障害	・ネグレクト ・過保護・過干渉 ・兄弟が不登校 (家庭の中で不登校が問題にならない) ・親の発達障害 ・経済的問題 ・多兄弟(下の子の面倒をみさせる)	・いじめ ・担任不信 ・クラスの雰囲気 ・部活問題 ・競走意識が強い

きっかけが見つからなかった場合、シート2に進みましょう。

【きっかけシート2】

＜きっかけが見つからなかった場合＞
どこに課題があるかチェックしてみましょう。
(問題ありと思われる場合は○をつけましょう。)

気がなったことを記入
してみましょう。

1 家庭・ 家族の こと	1 よく眠れているか	眠れている	眠れていない	この 部分 に ○ が つ く 場 合 は 登 校 割 り 減 る 場 合 に 場
	2 食事がとれているか	摂れている	摂れていない	
	3 暴力的な行動・自傷行為	無	有	
	4 自己否定する言動	無	有	
	5 衛生状況	問題なし	問題あり	
2 学校 のこと	1 友達関係	問題なし	問題あり	
	2 学力	問題なし	問題あり	
	3 苦手なこと・教科	問題なし	問題あり	
3 本人 のこと (発達 障害 等 の 疑 い は な い か)	1 こだわり	無	有	
	2 不器用さ	無	有	
	3 いつも動いている(多動性)	無	有	
	4 目標が合わない	無	有	
	5 偏食	無	有	
	6 忘れ物が多い	無	有	
	7 片付けができない	無	有	
	8 会話のやりとりができない	無	有	
	9 姿勢が悪い	無	有	
	11 音・光・皮膚感覚が敏感 (首の周りに当たる物を嫌がるなど)	無	有	
	12 空気の読めない言動や行動が多い	無	有	
	13 おとなしい	無	有	
	14 気力がない	無	有	
	15 不安が強い	無	有	

※13・14・15にチェックがついた場合は、なぜそうなのか、もう一度考えてみましょう。

おとなしい→自信のなさ→学力はどうか？友達関係は？保護者の過保護はないか？
 気力がない→エネルギーが落ちているのはなぜ？
 不安が強い→安心感のなさはどこからきている？どうしたら安心感を与えられるか？

【気になる子の保健室状況シート】

年 名前 _____

養護教諭が記入できるところを記入していきましょう

<児童生徒について> もともとこの子はどんな子か？ 【気になる子シート】

1 学校に来ていた時、この子はどんな子だったか

既往症： _____ (歳)

現在かかっている病気： _____

◎ ポイント・・・ 体格はどうか、急激な増減の変化はないか 成長曲線をチェック！

	4月	1年	2年	3年	4年	5年	6年
身長							
体重							
肥満度							

・本年度の様子

1学期 (身長 _____ cm・体重 _____)
2学期 (身長 _____ cm・体重 _____)
3学期 (身長 _____ cm・体重 _____ kg・肥満度 _____ %)

2 欠席、早退、遅刻の状況

◎ ポイント・・・ 理由に長文説明はないか。欠席、早退、遅刻が急に増えた時期はいつか、その理由は？

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1	中2	中3
授業日数									
欠席									
早退									
遅刻									

※ 欠席、早退、遅刻が急に増え始めた時期に何かあったのか…。きっかけとなることもあるかもしれません。

既往歴の年齢を付け加えた。

保健室利用状況をカットした。

3 現在の様子 (年生)

◎ ポイント・・・本年度、休みが多くなった時はないか。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業日数												
欠席												
早退												
遅刻												
保健室利用状況	日数											

保健室利用状況の時間数をカットした。

4 保健室の来室状況と養護教諭の対応等の記録

月日 ()	来室状況と対応等

◎ エピソードはありますか？

このシート全部を記入しなくても大丈夫です。子ども・保護者・担任の先生と話し合う時の参考にして下さい。 ※このような視点を持って話を聞くことで、その子を多面的に見るポイントになります。

5 睡眠・昼夜逆転の有無

睡眠：よく眠れている ・ よく眠れない

昼夜逆転：有 ・ 無

6 食事、食欲

食事：1日3食摂れている ()

食欲：有 ・ 無

7 苦手な事

・教科 _____

・あそび _____

8 友達関係

9 衛生状況

衣服・入浴・頭髮 _____

10 暴力的な行動、自傷行為の有無

暴力的な行動 無 ・ 有 ()

自傷行為 無 ・ 有 ()

項目を精選した。

11 自己否定する言動

無 ・ 有 ()

12 過敏性

不明 ・ 無 ・ 有 ()

13 こだわり

不明 ・ 無 ・ 有 ()

14 大丈夫な場面、ダメな場面の有無

大丈夫な場面 _____

ダメな場面 _____

15 学力

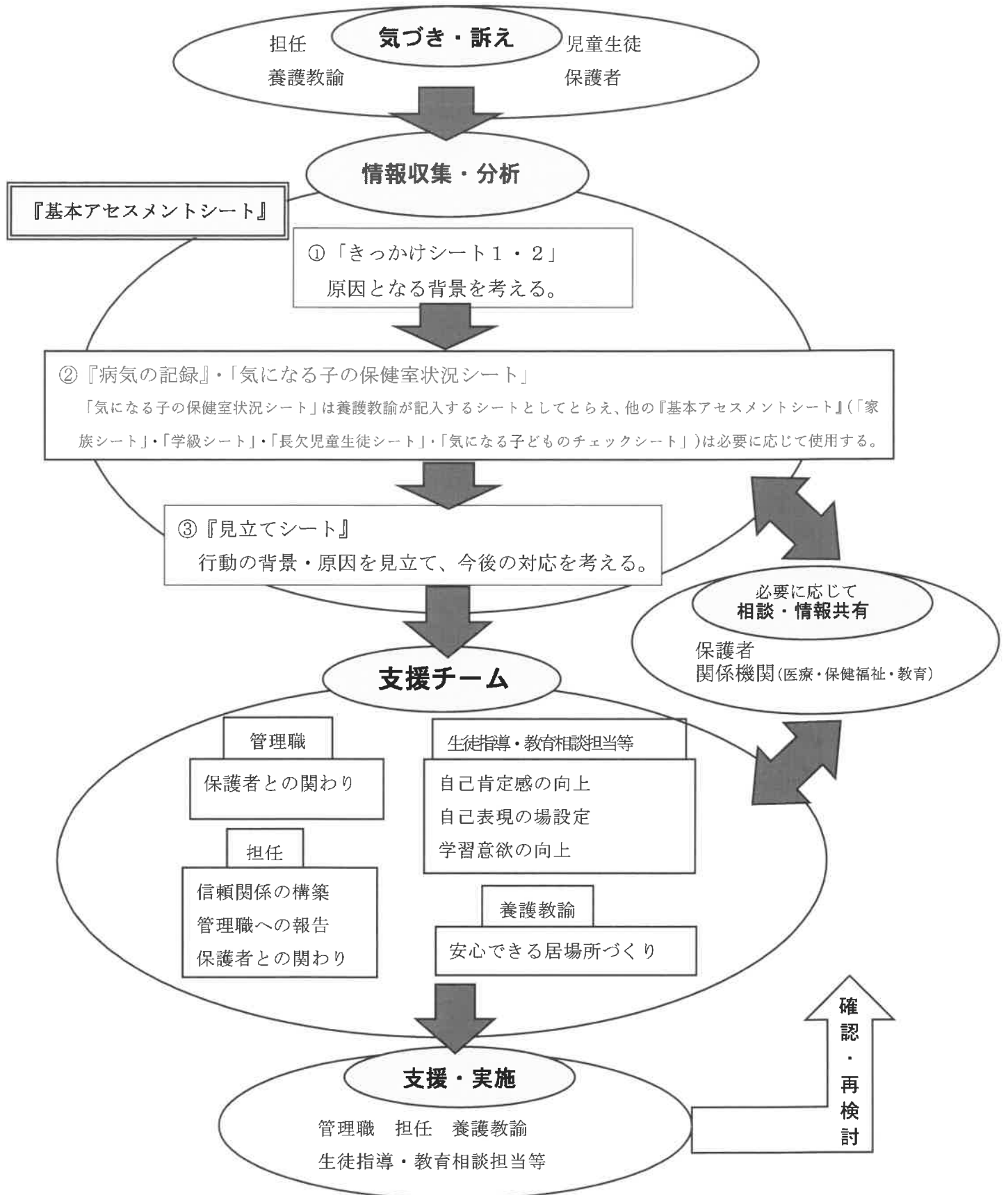
16 運動能力

(2) 『<改訂版>基本アセスメントシート』の使用の感想

2019年12月～2020年2月末まで、研究班（中学校3校・小学校7校）において、使用後、考察を行った。

【仮説3】

『病気の記録』・『基本アセスメントシート』・『見立てシート』を活用したアセスメントの流れについて考察した。



5 成果と課題

今回の実践と『基本アセスメントシート』等の活用を通して、不適応児童生徒の支援に大変有効であったと実感するとともに、検討を行った結果による成果と課題は以下の通りである。

<成果>

- 児童生徒に直接聞きづらい内容も、『基本アセスメントシート』を使うことでスムーズに聞くことができ、話のきっかけとしても有効で、子どもの状態を視覚化することができた。
- 児童生徒自身が、自分を振り返ることができ、今の気持ちを聞くことができた。
- 対象の児童生徒について、効果的に情報を収集することができ、職員の共通理解に役立った。
- 担任との情報交換に役立った。
- 書き込めなかった項目を、担任や保護者に要点を絞って聞くことができ、話を深められた。
- 自分の視点にはなかった様々な情報を集約でき、多面的な視点でみることができた。
- 『基本アセスメントシート』をケース会議で使用することによって、共通理解が図れた。

<課題>

- 様式や項目に関する変更や付け足しの希望、短時間での活用が難しいことや記入が難しい児童生徒がいた。
- 記入に時間がかかり、じっくりと取り組ませるための時間確保が難しい。
- 『基本アセスメントシート』の項目数が多く、養護教諭だけで情報収集するには、負担が大きかった。
- 学級については、担任目線の情報が重要になるため、養護教諭として記入しにくい。
- 教育相談員やスクールカウンセラーと連携し、助言を受ける等、継続した児童生徒支援が必要である。

<まとめ>

養護教諭が必要とする『基本アセスメントシート』等を作成し、活用をすることによって、保護者や担任及び校内の関係職員とも相互理解が深められた。児童生徒の個が抱える問題と子どもを取り巻く環境について、多面的、総合的にみていくことができるようになると、何に困っているかが見え、支援の仕方が増えてくるようになってきた。

今後は、養護教諭が『基本アセスメントシート』等を活用していく中で、来室する児童生徒や不適応児童生徒に対し、初期の段階での気づきや予防的観点からのアプローチができるようスキルを高めていきたい。そして、困った児童生徒ではなく、何に困っている児童生徒なのかを明確にし、その問題解決に向けて取り組む力をつけるために研鑽を積んでいきたい。

【参考文献】

- ・「千葉県版不登校対策指導資料集」
千葉県教育委員会
- ・中学校の養護教諭が行う健康相談活用を校内のチーム支援に生かすための研究
—保健室来室者へのヘルスアセスメントの実践より—
神奈川県立総合教育センター長期研究生報告 城所康子
- ・学校不適應児童生徒に対する指導・援助に関する研究
岩手県立総合教育センター教育相談室 大森正志・佐藤一也・木村史彦
- ・不登校を中心とした学校不適應事例の見立てに関する一考察
岩手県立総合教育センター教育相談担当 佐藤一也・中村誠子・佐々木一義
- ・「発達障害の子どもの心と行動がわかる本」
こころとそだちのクリニックむすびめ院長 田中康雄（監修） 西東社
- ・「A-P シート（アセスメント・プランニングシート）」を活用したケース会議の有効性
に関する研究 —チームで不登校児童生徒を支援するために—
静岡県総合教育センター 専門支援課教育相談班
- ・心の健康問題を持つこどものサインと養護教諭及び対応プロセスに関する研究
石崎トモイ・中村恵子・伊豆麻子・栗林祐子・大森悦子・佐藤美幸・西山悦子
新潟県青陵学会誌 第3巻第1号2010年9月
- ・養護教諭の考える不登校予防に必要な対応
三上眞美・岡本啓子
大阪総合保育大学紀要 2018-03-20
- ・学校不適應時の心の成長を促進する支援のあり方 —教育相談担当教員の立場から—
山口市立良城小学校教諭 西村浩子
- ・学校不適應を予防するために —学習障害の視点から—
学校不適應を予防するために学校現場における具体的支援
増元利信（長崎県時津町立時津北小学校）
第62回日本小児保健協会学術集会 シンポジウム1
- ・学校不適應の現状と課題 —家庭からのアプローチ—
丸山あけみ・吉弘淳一
神戸医療福祉大学紀要 Vol.7（1）87～98（2016）

〔共同研究者〕

中台中学校	伊藤 晴香
	小坂井 清江
	末松 智子
西中学校	新村 裕美枝
公津の杜中学校	岡本 征代
	伊藤 徳子
向台小学校	松浦 宏枝
加良部小学校	富澤 加津子
中台小学校	菅澤 美穂
新山小学校	菅崎 淑恵
	鬼島 良子
	徳永 美紅
	飯島 かおり
公津の杜小学校	栗谷川 雪恵
公津小学校	麻生 励子
	藤崎 めぐみ
	福田 桃恵
平成小学校	中村 久美子

資料編



心身の健康課題を抱える 児童生徒に対しての アセスメントに関する調査

保健室帰到来室等、養護教諭が気になる児童生徒（問題行動、不登校、いじめ、緘黙、虐待、学級崩壊など）に対してのアセスメントについてお答えください。

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○：空白マーク ●：正しいぬりつぶし 斜線：不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

- (1) 養護教諭の経験年数を選んでください。
 0年～5年 6年～10年 11年～15年 16年～20年
 21年～30年 31年～35年 36年以上
- (2) 勤務する校種を選んでください。
 幼稚園 小学校 中学校 義務教育学校 その他
- (3) 勤務する学校の児童生徒の籍数を選んでください。
 ～100名 101名～200名 201名～300名 301名～400名
 401名～500名 500名～
- (4) アセスメントという言葉を知っていますか？
 はい いいえ
- (5) 健康課題を抱える児童生徒に対してのアセスメントは必要だと思いますか？
 はい いいえ どちらともいえない
- (6) 健康課題を抱える児童生徒に対して、日常、どのように感じていますか？
 (複数回答可、主となる項目3つまで選択)
 原因や背景が複雑・多様化している 児童生徒の考え方や常識に偏りがある
 人間関係がうまくいかない 保護者との見解が違う
 医療的判断が必要 問題を表面的にみせない
 どのように対応してよいかのかわからない 特に困難さを感じない
 その他
- (7) (6)で、「その他」を選んだ場合、その内容についてお書きください。

- (8) 健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを実践していますか？
 実践している→(7)へ進んでください。 実践していない

- (9) 実践していると回答された方にお聞きします。どのようなことを実践していますか？
 (複数回答可、主となる項目3つまで選択)
 事例検討会や話し合い
 日常の行動の観察
 児童生徒との面談や相談
 保護者との面談や情報収集
 担任や教員からの情報収集
 保健室の来室状況や欠席、問診等の記録
 医師やカウンセラーなど外部との連携
 その他

(10)(9)で、「その他」を選んだ場合、その内容についてお書きください。

- (11)健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを行うにあたって普段困難さを感じていますか？
 感じている→(10)へ進んでください。 感じていない

- (12)困難さを感じていると回答された方にお聞きします。感じている理由を教えてください。
 (複数回答可、主となる項目3つまで選択)
 アセスメントの知識やスキルがない 情報収集の仕方
 時間の確保 問題行動に対する知識がない
 担任や他の職員との連携の仕方 児童生徒との信頼関係づくり
 保護者との連携の仕方 児童生徒との信頼関係づくり
 学校体制やチームでの取り組みが有効に機能しない 具体的対応策の見立てができない
 その他

(13)(12)で、「その他」を選んだ場合、その内容についてお書きください。

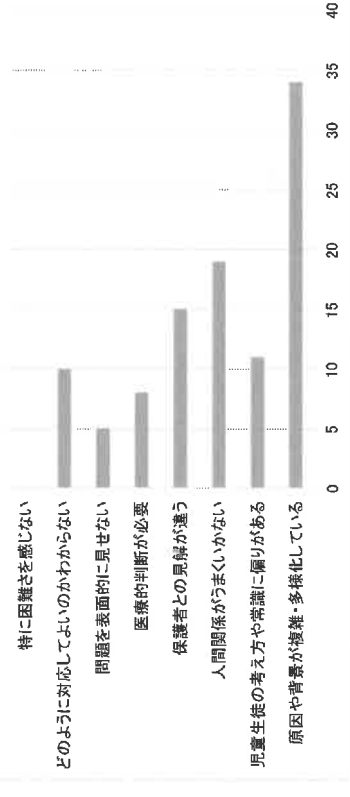
- (14)健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを行う際に、アセスメントシート（具体的な問診項目）があれば使用したいと思いませんか？
 はい いいえ
 どちらともいえない

ご協力ありがとうございました。

健康課題を抱える児童生徒に対して、日常どのように感じていますか？

原因や背景が複雑・多様化している	児童生徒の考え方や特徴にまぐいかないうちがある	人間関係がうまくいかない	保護者との見解が違ふ	医療的判断が必要	問題が表面的に見えない	どのように対応してよいかかわからない	特に困難を感じない
34	11	19	15	8	5	10	0

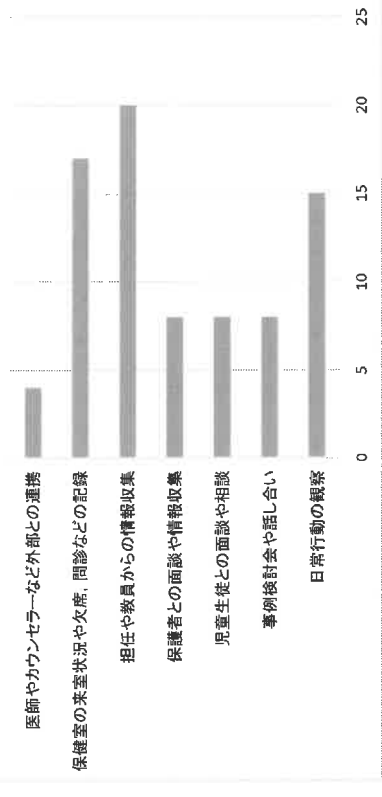
健康課題を抱える児童生徒に対して日常どのように感じているか



健康課題を抱える児童生徒へのアセスメントで、どのようなことを実践していますか？

日常行動の観察	事例検討会や話し合い	児童生徒との面談や相談	保護者との面談や情報収集	担任や教員からの情報収集	保健室の来室状況や欠席、問診などの記録	医師やカウンセラーなど外部との連携
15	8	8	8	20	17	4

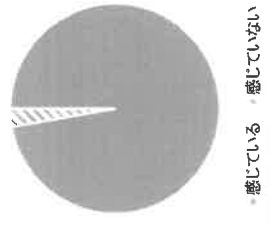
健康課題を抱える児童生徒へのアセスメントでどのように実践しているか



健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを行うにあたって普段困難を感じていますか？

感じている	感じていない
35	1

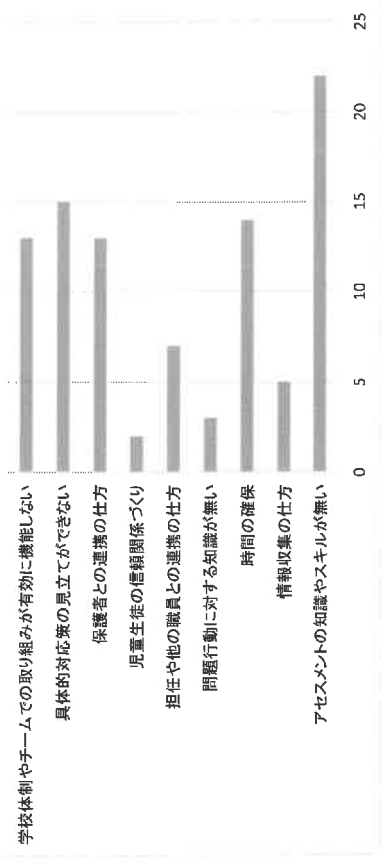
アセスメントを行うについて困難を感じるか



健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを行うにあたって、困難を感じている理由

アセスメントの知識やスキルが無い	情報収集の仕方が無い	時間の確保	問題行動に対する知識が無い	担任や他の職員との連携の仕方が無い	児童生徒の信頼関係が築けない	保護者との連携の仕方が無い	具体的な対応策の見立てが出来ない	学校体制やチームでの取り組みが有効に機能しない
22	5	14	3	7	2	13	15	13

健康課題を抱える児童生徒に対するアセスメントを行うにあたって困難を感じる理由





病気の記録

年 月 日 () 時 分 授業 ()
 組 氏名 () 天気 ()

からだの 具合	頭痛 () 腹痛 () 気持ちが悪い () だるい () 咳 () 鼻水 () のどの痛み () 寝不足 () その他 < () > ()	熱 () 脈拍 ()	度 () 回 ()
いつから 具合が悪い?	登校前・登校中・急に () 時間目から () ・昨日から ・その他 ()		
昨日、寝たじこく	時 分		
今朝、起きたじこく	時 分		
朝ごはんは?	食べた (ふつう・少し) 食べない		
排便は?	出た (ふつう・げり) 出ない ()		
今の気持ちは?	とても悪い () 悪 () 普通 () 良かった () とても良い ()		
心と体の 具合	疲れている () 首や肩がこる () 体が緊張している () 胸が痛い () 集中できない () よく眠れない () 気分が暗い () やる気がでない () 怒りっぽい () いらいらする () 小さな音にもびつくりする () 急に怒った () 友だちのことが気になる () 食欲がない () 心配なことがある () その他 < () > ()		
<原因> どうして具合が悪くなったかと思えますか?			

<手当て>
 教室で様子を見る ・ 保健室で様子を見る ・ ベッドで休養
 早退 () 時 () 分 ()

<メモ>

最近のあなたについて教えてね。

令和 年 月 日 () 記入
 ※ 書けるところだけ書いてね。

好きな教科

苦手な教科

自分のいいところは?

稍屬なこと

苦手なこと

友だちとうまくいっている?

さいき、じぶ、
最近の気持ちは?

とても悪い ← かつう → とても良い

とても 少し 普通 少し とても

元気がない 元気がない 元気がない 元気がない 元気がない

クラスはどんな感じ?

面白い事してる?

休みの日は何してる?

幼種園・保育園

自由スペース



資料4-①

年	組	ふりがな 氏名	部活()
からだの 具合 ○強い△なんとなく ×全くない	頭痛() 腹痛() 気持ちが悪い() だるい() 咳() 鼻水() のどの痛み() 嘔吐() 脈拍() 寝不足() その他<>()	熱() 脈拍()	度) 回)
いつから 具合が悪い?	・登校前 ・登校中 ・朝練中 ・急に ・()時間目から() ・昨日から ・その他()		
昨日、寝たじこく	時 分		
今朝、起きたじこく	時 分 (すっきり起きたら ・ なかなか起きられなかった)		
朝ごはんは?	食べた(ふつう・少し) 食べない		
排便は?	出た(ふつう・げり) 出ない()		
今の気持ちは?	とても悪い ← 普通 ← とても良い 		
心と体の具合 ○強い △なんとなく ×全くない	疲れている() 首や肩がこる() 体が緊張している() 胸が痛い() 集中できない() よく眠れない() 気分が暗い() やる気がでない() 怒りっぽい() いらいらする() 小さな音にもびくりする() 急に怒った() 友だちのことが気になる() 食欲がない() 心配なことがある() その他<>()		

<原因> どうして具合が悪くなったと思いますか?

<手当て> 教室で様子を見る ・ 保健室で様子を見る ・ ベッドで休養
 早退()時()分

<メモ>

最近のあなたについて教えてね。

資料4-②

好きな教科

苦手な教科

自分のいいところは?

得意なこと

苦手なこと

友だちとうまくいっている?

最近の自分は?

とても悪い ← 普通 ← とても良い

ふつう 少元気 少元気 とも元気

○をつけてね!

クラスはどんな感じ?

習い事してる?

休みの日は何してる?

幼稚園・保育園・小学校

自由スペース

最近、楽しかったこと、嬉しかったこと。

最近、辛かったこと、悲しかったこと、いやだなあと思ったこと。

【きっかけシート1】

なぜこの子は休みが多く
なってきたのかな？

くアセスメントから、きっかけになったことは何が考えられるか？

() 1.家の中で大きな変化があった。

- ・引越
- ・離婚
- ・死別
- ・親の転職
- ・経済状況の悪化
- ・その他()

イベントをきっかけ
に
行かなくなること
あります。

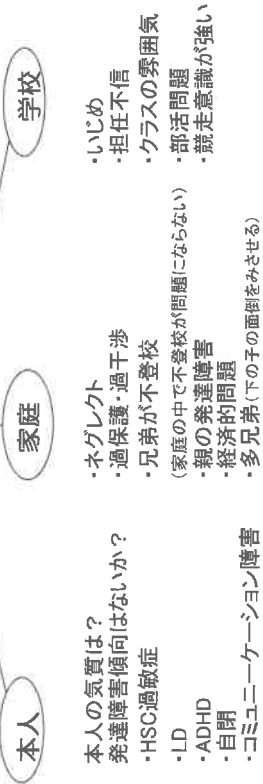
() 2.学級で何かあった。

- ・友達関係のトラブル
- ・いじめ
- ・勉強のつまずき
- ・その他()

() 3.その他。思い当たることがある。

※原因があるのであれば、その原因を快方するためには？

考えられる困り感(例)



きっかけが見つからなかった場合、シート2に進みましょう。

【きっかけシート2】

くきっかけが見つからなかった場合

どこに課題があるかチェックしてみましょう。
(問題ありと思われる場合は○をつけましょう。)

気になったことを記入
してきましょう。

1 家庭・家族のこと	よく眠れているか	眠れている	眠れていない
1	よく眠れているか	眠れている	眠れていない
2	食事がとれているか	摂れている	摂れていない
3	暴力的な行動・自傷行為	無	有
4	自己否定する言動	無	有
5	衛生状況	問題なし	問題あり
2 学校のこと	1 友達関係	問題なし	問題あり
	2 学力	問題なし	問題あり
	3 苦手なこと・教科	問題なし	問題あり
3 本人のこと(発達障害等の疑いはないか)	1 こだわり	無	有
	2 不器用さ	無	有
	3 いつも動いている(多動性)	無	有
	4 目線が合わない	無	有
	5 偏食	無	有
	6 忘れ物が多い	無	有
	7 片付けができない	無	有
	8 会話のやりとりができない	無	有
	9 姿勢が悪い	無	有
	11 音・光・皮膚感覚が敏感 (首の周りに当たる物を嫌がるなど)	無	有
	12 空気の読めない言動や行動が多い	無	有
	13 おとなしい	無	有
	14 気力が無い	無	有
	15 不安が強い	無	有

この部分は登校時に○がつく場合を慎重に場合

※13・14・15にチェックがついた場合は、なぜそうなのか、もう一度考えてみましょう。

おとなしい→自信のなさ→学力はどうか？友達関係は？保護者の過保護はないか？
気力が無い→エネルギーが落ちているのはなぜ？
不安が強い→安心感のなさはどこからきている？どうしたら安心感を与えられるか？

【気になる子の保健室状況シート】

年 組 名前



養護教諭が記入できることを
記入していきましょう

<児童生徒について> もともとこの子はどんな子か？ 【気になる子シート】

1 学校に来ている時、この子はどんな子だったか

既往症: (歳)

現在かかっている病気:

◎ ポイント・・・ 体格はどうか、急激な増減の変化はないか。体格がはずれているようであれば、成長曲線をチェック！

4月	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
身長									
体重									
肥満度									

・本年度の様子

1学期(身長)	cm・体重	kg・肥満度	%)
2学期(身長)	cm・体重	kg・肥満度	%)
3学期(身長)	cm・体重	kg・肥満度	%)

2 欠席、早退、遅刻の状況

◎ ポイント・・・ 過去に長欠傾向はないか。欠席、早退、遅刻が急に増えた時期はいつか。その背景は？

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1	中2	中3
授業日数									
欠席									
早退									
遅刻									

※ 欠席、早退、遅刻が急に増え始めた時期に何かあったのか…。きっかけとなることがあったかもしれません。

3 現在の様子 (年生)

◎ ポイント・・・ 本年度、休みが多くなった時はないか。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業日数												
欠席												
早退												
遅刻												
保健室 利用状況												
日数												

4 保健室の来室状況と養護教諭の対応等の記録

月日()	来室状況と対応等												

○ エピソードはありますか？





このシート全部を記入しなくても大丈夫です。
 子ども・保護者・担任の先生と話をする時の参考にしてください。
 ※このような視点を持って話を聞くことで、その子を多面的に

5 睡眠・昼夜逆転の有無

睡眠:よく眠れている ・ よく眠れない

昼夜逆転:有 ・ 無

6 食事, 食欲

食事:1日3食摂れている ・ (

食欲:有 ・ 無

7 苦手な事

・教科

・あそび

8 友達関係

9 衛生状況

衣服・入浴・頭髮

10 暴力的な行動, 自傷行為の有無

暴力的な行動 無 ・ 有(

自傷行為 無 ・ 有(

11 自己否定する言動

無 ・ 有(

12 過敏性

不明 ・ 無 ・ 有(

13 こだわり

不明 ・ 無 ・ 有(

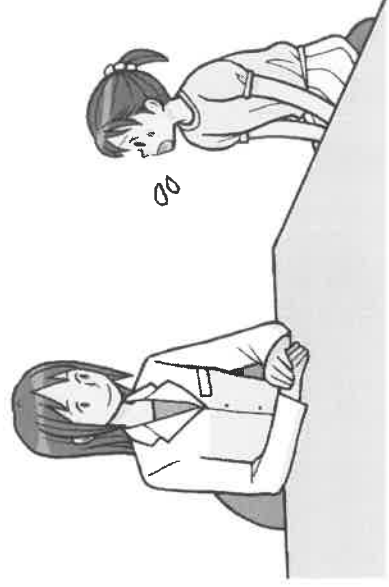
14 大丈夫な場面, ダメな場面の有無

大丈夫な場面

ダメな場面

15 学力

16 運動能力



【長欠児童生徒シート(本人)】



このシート全部を記入しなくても大丈夫です。
 子ども・保護者・担任の先生と話をする時の参考にして下さい。
 ※このような視点を持って話を聞くことで、その子を多面的に見るポイントになります。

年 組 名 前 _____

＜児童生徒について＞今現在の、この子の様子(長欠Ver.本人)

- 1 休んでいるとき何をしているか・どこで過ごしているか。

何をしている

- 2 昼夜逆転の有無
 有: _____
 無: _____

- 3 眠れているか。

- 4 食欲

- 5 風呂に入っているか。
 入っている: _____
 入っていない: _____

- 6 外出することはあるか。
 有: _____
 無: _____

- 7 家族以外の人と会っているか。
 いる: _____
 いない _____

- 8 友だちと連絡をとっているか。
 いる: _____
 いない _____

- 9 髪の毛を最後に切ったのはいつか。

- 10 勉強に取り組んでいるか。

【長欠児童生徒シート(保護者)】



このシート全部を記入しなくても大丈夫です。
 子ども・保護者・担任の先生と話をする時の参考にして下さい。
 ※このような視点を持って話を聞くことで、その子を多面的に見るポイントになります。

年 組 名 前 _____

＜児童生徒について＞今現在の、この子の様子(長欠Ver.保護者)

- 1 学校の話題を出した時の反応。

- 2 暴力的な言動や自傷行為の有無
 暴力的な言動有: _____
 暴力的な言動無 _____
 自傷行為有: _____
 自傷行為無 _____

- 3 自己否定する言葉の有無
 有: _____
 無 _____

- 4 甘えてくる言葉の有無
 有: _____
 無 _____

- 5 病院や相談機関への通所の有無
 有: _____
 無 _____

- 6 本人に困り感があるか。
 有: _____
 無: _____

- 7 どういう時なら大丈夫で、どういう時にダメか。
 大丈夫な時: _____
 だめな時: _____

【気になる子どものチェックシート】

子どもがどこに困難を抱えているのか、支援のヒントを見つけるために活用してください。

気になる点	具体的な項目(気になるところにチェック)	特記事項
1	既往症、治療中の傷病の有無	<input type="checkbox"/>
2	病院への通院、相談機関への通所の有無	<input type="checkbox"/>
3	身体の発育の様子	<input type="checkbox"/>
4	長欠傾向の有無(過去の欠席・遅刻・早退の様子)	<input type="checkbox"/>
5	保健室来室の状況	<input type="checkbox"/>
6	身体症状の有無	<input type="checkbox"/>
7	睡眠・昼夜逆転の有無	<input type="checkbox"/>
8	食事、食欲	<input type="checkbox"/>
9	得意なこと、好きなこと	<input type="checkbox"/>
10	苦手なこと、嫌いなこと	<input type="checkbox"/>
11	部活動	<input type="checkbox"/>
12	習い事	<input type="checkbox"/>
13	休日の様子	<input type="checkbox"/>
14	友達との関係	<input type="checkbox"/>
15	先生との関係	<input type="checkbox"/>
16	衛生状態(衣服、入浴、頭髮等)	<input type="checkbox"/>
17	暴力的な行動、自傷行為の有無	<input type="checkbox"/>
18	自己否定する言動	<input type="checkbox"/>
19	甘えてくる言動	<input type="checkbox"/>
20	過敏性	<input type="checkbox"/>
21	こたわりの有無	<input type="checkbox"/>
22	大丈夫な場面、ダメな場面の有無	<input type="checkbox"/>
23	本人の困り感の有無	<input type="checkbox"/>
24	不適応を起こしたさっかっかと思われることの有無	<input type="checkbox"/>
25	学力	<input type="checkbox"/>
26	勉強への取り組み	<input type="checkbox"/>
27	運動能力	<input type="checkbox"/>
28	幼稚園、保育園、小学校での様子	<input type="checkbox"/>
29	学童での様子	<input type="checkbox"/>
1	家族構成・年齢	<input type="checkbox"/>
2	仕事・勤務時間	<input type="checkbox"/>
3	経済状態	<input type="checkbox"/>
4	両親の様子、雰囲気	<input type="checkbox"/>
5	子どものかかわり	<input type="checkbox"/>
6	家族以外の支援者の有無(祖父母、親戚、近所等々)	<input type="checkbox"/>
7	保護者の困り感の有無	<input type="checkbox"/>
8	保護者と学校との関係	<input type="checkbox"/>
9	特別支援に対する考え	<input type="checkbox"/>
1	学級の雰囲気	<input type="checkbox"/>
2	この子をクラスの子とも達はどう見ているか	<input type="checkbox"/>
3	仲の良い子	<input type="checkbox"/>
4	部活の友達	<input type="checkbox"/>
5	担任の先生の雰囲気	<input type="checkbox"/>
6	学校の雰囲気	<input type="checkbox"/>
7	特別な配慮をすることに対する学校・担任の理解	<input type="checkbox"/>
8	どのような支援体制を整えられるか・学校の現状	<input type="checkbox"/>



見立てシート

令和 年 月 日作成

年 組 名前

＜気になる点＞ 具体的特徴を整理する

該当に〇・・・問題行動・非行・いじめ・不登校・人間関係・発達障害・家族問題・虐待・その他()
(いつから、状況、理由、原因)

現在の対応状況

＜児童生徒を取り巻く環境＞ 家族シート、学級シートから考えられる背景を整理する

児童生徒の状況	【生育歴(発達状況、保育園、幼稚園への所属、乳幼児健診、予防接種履歴等)、既往歴、性格、意識、気持ち、問題行動の有無】							
	【学校での様子(クラス、クラブ活動)、交友関係、先生との関係、学力】							
児童生徒の欠席状況	小学校	1年()	2年()	3年()	4年()	5年()	6年()	日
保護者の状況	中学校	1年()	2年()	3年()	【養育意識、学校との関わり、保護者の意向、経済状況等】			
現在家庭に関わっている機関								

＜見立て＞

行動の背景、原因	【考えられる問題行動の原因(直接的、間接的)、きっかけ、子母がどのような責をなして来たかをまとめる】
----------	--

＜今後の対応＞

今後の課題	校内体制(保健室では)		その他
具体的な対応方法(誰が、何を、いつまでに)			
学校以外の機関と連携の必要性	有 ・ 無	機関名	教育委員会、教育センター、他の教育機関(市町村【生活保護、障害福祉、児童福祉・保健センター・その他()】児童相談所、児童福祉センター(保健所)、民生委員、主任児童委員、警察(警察署・少年センター)、家庭裁判所、医療機関()その他機関()